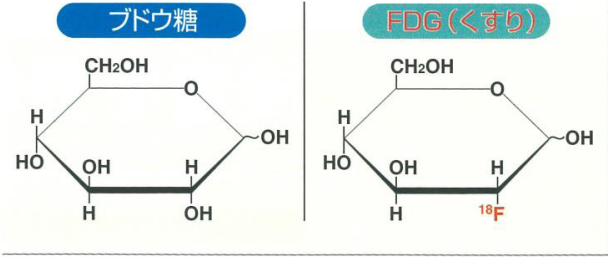


(ペット)

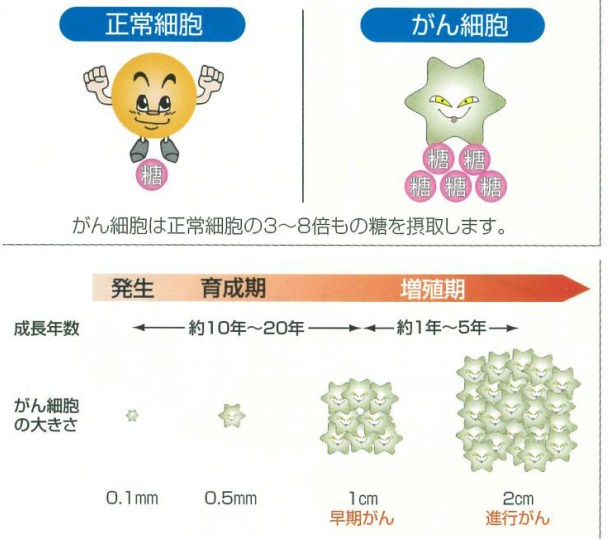
FDG-PET検査とは・・・

ブドウ糖は身体の細胞のエネルギー源です。この検査で使われるFDGというくすりは、ブドウ糖と構造が似ているので、ブドウ糖と同じように身体の細胞内に取り込まれます。このFDGには放射性核種のフッ素 (^{18}F) が付いているため、放出される放射線をPETカメラという装置でとらえ、その分布を画像にすることができます。



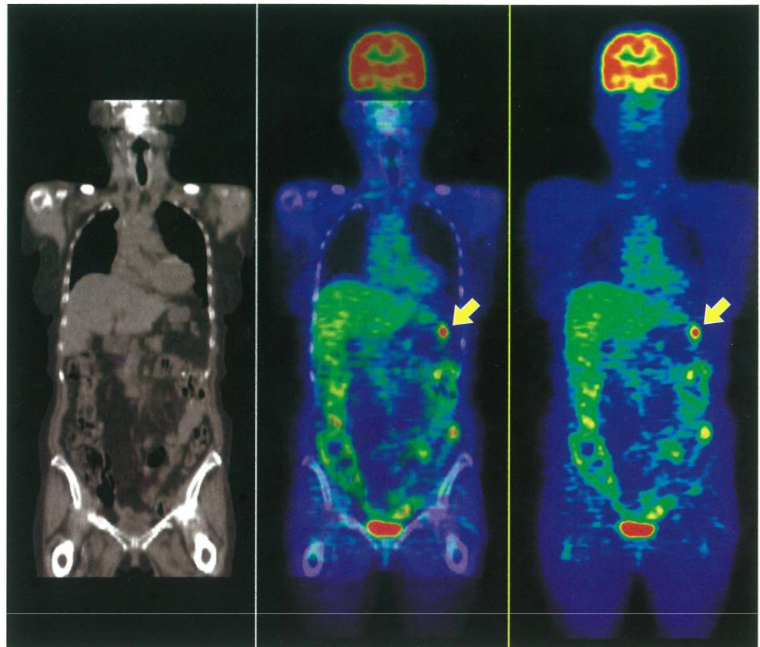
FDG-PET検査でなにがわかるのですか？

脳や心臓は、ブドウ糖を使って活動するため、大量のブドウ糖を取り込みます。また、がん細胞は正常な細胞より糖代謝が活発なため、正常な細胞の3~8倍ものブドウ糖を取り込みます。FDGを投与すると、全身のブドウ糖が取り込まれる様子を観察できることから、脳や心臓、がんなどの病気の診断に有用な検査法とされています。ただし、数cmでもブドウ糖を取り込まないがんや、数mmの小さいがんなどでは診断できない場合もあります。



FDG-PETの有用性とは・・・

- **脳における検査の有用性**
難治性てんかんの診断
- **心臓における検査の有用性**
虚血性心疾患の診断
- **がんにおける検査の有用性**
 - 早期発見
 - 良性・悪性の判断
 - がんの部位や広がり診断
 - 治療効果の判定
 - 再発や転移の診断



PETとCTを重ねた画像です
(症例:結腸がん)

検査の受け方

検査前

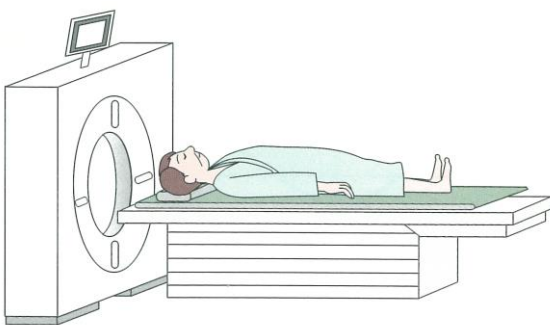
● 診察を受けます。

症状に合わせて検査の計画を立てます。疑問や不安がありましたら、納得のいくまで確認しておきましょう。

● 検査の予約をしてください。

検査に使うくすりは検査日当日しか使えないため、検査予定に合わせて用意します。直前のキャンセルは難しいため、確実に来られる日を予約してください。

● 裏面の注意事項を確認しておきましょう。



検査当日

① 絶食

検査前6時間は食事や糖分を含んだ水分の摂取は中止してください(前日と当日の運動は控えてください)。



② 注意事項や検査の流れをもう一度確認します



③ 注射

くすり(FDG)を静脈に注射します。



④ 安静

くすりが全身に行きわたるまで、約1時間安静にします。



⑤ 尿中のくすりを排泄します

(下腹部の画像が鮮明になります。)



⑥ 撮影

PETカメラの下で約30分安静にし、撮影します。



⑦ 終了

後日(当日の場合もあります)、担当の医師から検査結果の説明を受けます。



さらに詳しくは
主治医に
お尋ねください。



- 本当に一度の撮影で全身の診断ができるのですか?
- すべてのがんがわかるのですか?
- 検査費用はおいくらですか?
- 保険は適用されますか?
- 放射線の影響はないのですか?
- 副作用の心配はないのですか?
- 受付から検査終了まで何時間かかりますか?

FDG-PET検査を受ける際の注意事項

- 検査の6時間前からは食事や糖分を含んだ水分の摂取は中止してください。
- 検査前日と当日の運動は控えてください。
- 検査の予約日時を守ってください。
- 注射から撮影まで約1時間安静にして待機いただきます。
- 撮影の直前に排尿をお願いします。
- 妊娠中または妊娠している可能性のある方・授乳中の方は申し出てください。
- 糖尿病の方、服用中のくすりがある方は申し出てください。
- 検査終了当日は、乳幼児や妊婦との接触は控えてください。